

地理歴史科	科目名	日本史 A	担当者	
履修学科	全科			
履修学年	第 3 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけ、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う			
評価基準及び方法	各学期の定期テスト、ワークノートやファイル、レポート等の提出状況、意見発表、授業態度を利用し評価を行う。			
使用教科書及び教材	高等学校 日本史 A 人・くらし・未来 (第一学習社) プロムナード日本史 (浜島書院)			
その他留意点	地図を利用し、地理的条件や世界の歴史との関連を視覚的に把握することに留意する。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	第 1 章 近代日本の形成と 19 世紀の世界 第 1 節 国際環境の変化と幕藩体制の動揺	○オリエンテーション 近代社会を形成した欧米諸国の日本への開国要求、幕府及び諸藩の改革の努力に着目して理解する。	
5	第 1 章 第 2 節 明治維新と近代国家の形成	開国とその影響、明治政府による諸制度の改革、文明開化と殖産興業、明治初期の外交などに注目して理解する。	定期考査
6	第 2 章 近代国家の歩み ・ と国際関係	自由民権運動の展開、立憲体制の成立、条約改正、日清・日露戦争とその前後の国際環境などに着目して、	定期考査
7	第 1 節 国際関係の推移と近代産業の成立	近代的立憲国家の成立と国際関係の推移を理解する。	
9	第 2 章 ・ 第 2 節 政党政治の展開と大衆文化の形成	政党の役割と社会的基盤、時代の変化と近代文化の形成などに着目して、明治中期から昭和初期までの政党政治の推移と学問や文化の進展を理解する。	定期考査
10			
11	第 2 章 第 3 節 第二次世界大戦と日本	諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、2つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察する。	
12	第 3 章 第二次世界大戦後の日本と世界	占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の	定期考査

	第1節 戦後の政治と社会	再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察する。	
1	第3章 第2節 経済国家としての発展	戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察する。	
2 ・ 3	第3章 第3節 現代の日本と世界	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史に関わる身の回りの社会的事象と関連させた主題を設定し、資料を活用してその解決法を探る。	定期考査